



# SSHレターズ

長崎県立大村高等学校

最先端の学びを日本の西端から創造する。  
学びの“SHINKA”がここから始まる。

2巻/1号 2023/4/10

祝 大村高校SSH第Ⅱ期採択決定 (文部科学省指定 令和5年度～令和9年度) !!

長崎県立大村高等学校 SSH第Ⅱ期研究開発概念図

**研究開発題目**  
『教科横断型課題探究プログラムと評価・指導法のSHINKAによる科学技術人材育成方法の開発』

※SHINKAには、① 芯化…SSH事業を本校の探究活動の芯(軸)に据える ② 進化…第Ⅰ期の内容を更に進化させる  
③ 深化…第Ⅰ期の内容を更に深化させる ④ 真化…第Ⅰ期の内容に真の価値をもたせる  
の4つの意味を込めている。

**研究開発の土台となる仮説**

**研究開発の【仮説1】**  
自然・地域+「社会課題」を多元的に探究

学校設定科目  
「サイエンス基礎」  
「OMURA STEAM LABO」  
の開発

情報分析力育成プログラムの開発

科学的探究力・科学への興味関心 向上

**研究開発の【仮説2】**  
「多様」な他者との協働探究

大村高校探究活動コンソーシアムの構築

県内SSH校+県外SSH校・海外校との連携プログラムの開発

科学的探究力・協働実践力 向上

**研究開発の【仮説3】**  
「真正の評価」の継続的改善・検証

・アンケート  
・ポートフォリオ評価  
・パフォーマンス評価  
による「真正の評価」の開発

カリキュラム・マネジメントの開発

生徒のメタ認知力・教員の指導力 向上

**育成を目指す人間像**  
高度な科学的思考力と豊かな発想力を持ち、新たな解の創発に向けて行動する人間

未来を切り開くために大村高校が育成する10の力

科学的探究力		協働実践力	メタ認知力
課題発見力	情報収集力	創発力	自己評価力
論理的思考力	プレゼンテーション力	社会参画力	自己変容力
情報分析力	創造的解決力		

**【研究開発推進上の要点】**  
誰一人取り残さない「全員での指導」で、「地域・他校等との協働」で、プレミアムゾーンの生徒へのアプローチに加え、生徒のプルアップ、ボトムアップにも適切なサポートを実施

**真化**

**第Ⅰ期 芯化**

- 県内文庫探究科連絡協議会
  - 長崎北陵台高校
  - 島原高校
  - 佐世保南高校
  - 津久井高校
- 海外の高校
  - Green Valley High School (アメリカ)
  - SMK PASIR GUDANG (マレーシア)
- 県外SSH協力校
  - 広島大学附属高校
  - 東京学芸大学附属国際中等教育学校
  - 筑波大学附属駒場高校
- 県内SSH校
  - 長崎百高
  - 長崎南高校
  - 県内W校
  - 長崎東高校

**第Ⅱ期 進化**

**深化**

**拡充・発展**

1年  
・サイエンス基礎 (文理探究科: 1単位)  
対象: 1期1クラス→2期2クラス  
・探究プラットフォームI (全学科: 1単位)

2年  
・探究プラットフォームII A/II B/II C (文理探究科・普通科: 2単位) (家政科: 1単位)

3年  
・探究プラットフォームIII A/III B/III C (全学科: 1単位)

事業内容  
・各事業とルーブリックの評価指標の関連についての分析強化  
・HPへの教材・事業実施要領等の掲載による探究活動の普及  
・県内SSH校等との連携事業  
Science Colloquium for All Nagasaki  
未来デザインイン/バージョンフェア

**新規**

1年  
・パフォーマンス評価 (文理探究科「サイエンス基礎」で実施)  
・学校設定科目 (文理探究科: 1単位) 「OMURA STEAM LABO」  
・ネクストジェネレーション・ミーティング (文理探究科)  
【東京学芸大学附属国際中等教育学校・筑波大学附属駒場高等学校との共同研修】  
・留学生交流研修 (文理探究科)  
・探究プラットフォームIにおける大高探究ビルディング (全学科)  
情報分析力育成講座 (全学科)

2年  
・留学生交流研修 (文理探究科)  
・シンガポール・マレーシア研修 (文理探究科)

2・3年  
・広大附属高校との連携 (文理探究科)  
・大村高校探究活動コンソーシアム (全学科)

左図は第2期の内容をまとめたものになります。大村高校は、これからも様々なSHINKAを遂げていきます!!